

ホソバヒカゲスゲ	<i>Carex humilis</i> Leyss. var. <i>nana</i> (H.Lév. et Vaniot) Ohwi	絶滅危惧II類
		カヤツリグサ科
選定理由	生育地が限定されており、継続的な減少が予測されるため。	写真(清水英彦)
形態の特徴	匍匐枝を出さず、密に叢生する。葉はヒカゲスゲよりやや細い。花序は著しく低く、刺が少なく(ざらつきが少ない)、長さ5cm前後。雄鱗片、雌鱗片は褐色～濃褐色。果胞は密に毛があり、有脈(脈太い)、口部は平切形、基部は柄となる。ヒカゲスゲの花序が出たての個体を本種と誤認することがあるが、花序や果柄の刺が少ない点で見分けられる。花期は5-8月。	
生態的特徴	乾燥した明るい樹林内や岩場に生育する多年草。	
分布状況	北海道・本州・四国・九州・対馬に分布し、岐阜県では県南東部に分布する。	
減少要因	開発に伴う山林伐採。	
保全対策	山林の保全。	
特記事項		
参考文献	勝山輝男. 2005. 「ネイチャーガイド 日本のスゲ」. 文一総合出版, 東京. 星野卓二・正木智美・西本眞理子. 2011. 「日本カヤツリグサ科植物図譜」. 平凡社, 東京.	

文責: 清水英彦